

## 長岡百穴（宇都宮市）

正面は長岡百穴古墳の東群/この左手に西群が所在する/7世紀前半築造の横穴墓群

[video](#)



東群の右端（東側）を見たところ



ここで民家に接している



左手の西群の方向へ進むと、説明板が立っていた

[video](#)



# 栃木県指定史跡

## 長岡百穴古墳 52基

昭和30年7月26日指定



凝灰岩露頭の斜面に掘り込まれた横穴群は、現在52基(東群44基、西群8基)が南を向いて開口している。しかし、重複して掘り込まれたものもあり、実際はもっと多くの墓穴があったことは確実である。

これらの横穴の基本形態は、羽子板型の玄室から玄門を経て直接前庭部へ続くもので、羨道に当たるものはみられない。

玄室の奥壁はアーチ型でほぼ垂直であり、玄門もほぼ同じ形で中央部が長方形にあけられている。玄門には扉石を嵌込んだとみられる切込みがあり、現在はないが、当時は、ほとんどの横穴に扉石があったであろう。

この横穴群の造られた時期は明らかではないが、全国的に横穴群が広がった7世紀前半と位置づけるのが適当であり、群集墳のように家族墓的性格をもったものといえそうである。

なお、現在各室に観音像等があるが、これらは後世のものである。

栃木県教育委員会・宇都宮市教育委員会

東群44基、西群8基の52基が開口しているらしい/埼玉県比企郡吉見町の「吉見の百穴」よりも規模はやや小さいが、この地でもこういった墓制が行われていた

そこで、右手（東側）を見たところ/こちらは東群



上の段に上って見たところ



そこで左手を見ると、石碑（顕彰碑か？）や説明板と建物（左手）がある





# 長岡緑地環境保全地域

(昭和52年7月19日指定)

この地域は、県指定文化財・百穴古墳群を中心にアカマツ林やコナラ・クヌギ林などの緑地に恵まれ、良好な緑地環境を形成しています。

都市近郊の緑が急速に失われつつある今日、このような緑地を残すことはたいへん意義深いことであり、私たち県民一人一人の願いでもあります。

みなさん、このかけがえのない大切な緑地をいつまでも残していきましょう。



栃 木 県

この建物は、東群と西群の間に建つ百穴観音堂



左手を見ると、その傍らに歌碑が立っていた/背後は西群



アップで見たところ/百穴の石仏を詠んだ歌のようだ



こちらが西群/西側から東側の東群方向を見たところ/百穴観音堂が見える

[video](#)



これが西群



横穴の中には、後世に彫られた石仏が安置されている

 [video](#)









東群の石仏も見てみよう

[video](#)









ここで民家に突き当たり、東端となっている

[video](#)



参考ホームページ

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/furusato/detail.jsp?p=32&r=152>

<http://cheap.hateblo.jp/entry/2016/09/05/073156>

<https://japan-geographic.tv/tochigi/utsunomiya-nagaokahyakuana.html>

<https://ameblo.jp/zero10932/entry-12496194211.html>

<http://okikuyihst.travel.coocan.jp/nagaoka-hyakuana.html>

<https://monoda1.com/html/hyakuana.html>

<http://osumituki.com/event/sekainonandakore/77687.html>

